

# 再エネの地産地消による脱炭素社会の実現と県内経済の競争力確保に向けた基本方針

## 1 基本方針

県は、県内で発電された再エネ電気等を活用し、本県の脱炭素社会の実現と県内経済の競争力確保を図るものとする。

## 2 背景・目的等

- 本県の脱炭素社会実現に向けては、再エネ発電施設の導入拡大のみならず、県民・県内産業が再エネ電気を活用し、温室効果ガスの排出量を削減することが重要である。
- 一方、県内で発電された再エネ電気や環境価値が県内で活用されず、他地域の産業の脱炭素の取組に用いられる状況も見られる。
- また、サプライチェーン全体の脱炭素化が求められており、脱炭素に取り組んでいない事業者は取引先を失うおそれがあるなど、県内産業においても再エネ電気の活用等による脱炭素の取組強化が求められている。
- そこで、県内で発電された再エネ電気等を県内産業へ優先供給することなどにより、本県における脱炭素の取組を推進するとともに、県内経済の競争力確保を図ることを目的に本方針を定めるもの。

## 3 基本方針に基づく主な取り組み

### 1 未利用地等の活用

県有未利用地等を活用し、再エネ導入を促進するとともに、生み出された電気を県内事業者へ供給するマッチングを実施します。



### 2 県有発電施設の活用

県が新たに設置する発電施設等により生み出された再エネ電気は、県内事業者へ優先売電します。



### 3 県内優先売電等の推進

- 新たに県内に再エネ発電施設の設置を計画する事業者等に対し、県内事業者への優先売電を求めます。
- 県事業で取得したJ-クレジット等は、県内事業者へ優先販売します。



### 4 補助・共同購入の実施

再エネを導入する県内事業者に対し、設備導入に対する補助や、共同購入事業などによる支援を行います。



(参考)

みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略と本基本方針との関係等

本基本方針はみやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略における重点施策「4 サプライチェーンの脱炭素化と県内経済の競争力確保のためのカーボンニュートラルレポートやカーボンニュートラルを目指した産業用地等の形成に向けた取組の促進」等に基づく取組の一つ。

